

平成 26 年第 6 回市議会定例会 一般質問通告（要旨）

平成 26 年 12 月 11 日（木）

1 大井 俊彦 議員

| | | |
|---|-----|-------------------|
| 1 | 件名 | 地域の防災対策について |
| | (1) | 顔の見える範囲での助け合いの必要性 |
| | (2) | 災害時要援護者対策 |
| | (3) | 地域防災訓練の見直し |
| 2 | 件名 | 災害時のトイレ対策について |
| | (1) | 避難所、救護所のトイレ対策 |
| | (2) | トイレ対策マニュアルの策定 |

2 名波 富幸 議員

| | | |
|---|-----|-------------------------------------|
| 1 | 件名 | 第二次総合計画宝子ども育成プロジェクトは、牧之原市の人口流出を救えるか |
| | (1) | 牧之原市の人口流出について |
| | (2) | 牧之原市の若者の周辺市町への流出の歯止め策について |
| | (3) | 宝子ども育成プロジェクトについて |

3 大石 健司 議員

| | | |
|---|-----|--|
| 1 | 件名 | 牧之原市の防災対策と被災後の対応について |
| | (1) | 10 月に相次いで静岡県に最接近した台風 18 号と 19 号は、自然災害の恐ろしさと、その対応の難しさをあらためて浮き彫りにした。災害時に市長が発令する「避難勧告」「避難指示」などについて伺いたい。 |
| | (2) | 海岸や二級河川など、県の管理する区域が被災した後の市としての対応について詳細に質したい。 |
| | (3) | 「津波避難施設の整備完了 1 年ずれ込み」などの一連の新聞報道についての問題点を伺いたい。 |

4 植田 博巳 議員

| | | |
|---|-----|---|
| 1 | 件名 | 地震津波防災事業の進捗状況及び工事計画について |
| | (1) | 避難タワーは27年度までに完了する計画であったが、28年度にずれ込むことになった。その経過と今後の防災事業の工事計画について伺う。 |
| | (2) | 事業実施が遅延している理由は、多くの事務作業が短期間に集中していること及び、防潮堤の検討も同時に進めていくことなどから、担当職員への負担が相当大きいのではないかと考えられるが、市はどのように考えているのか伺う。 |

5 中野 康子 議員

| | | |
|---|-----|-----------------------------------|
| 1 | 件名 | 児童虐待の防止と子育て支援 |
| | (1) | 児童虐待の現状 |
| | (2) | 児童虐待の防止のため、市、学校、医療機関、児童福祉施設等の関わり方 |
| | (3) | 児童虐待を受けた児童等に対する支援策 |

平成26年12月12日（金）

6 平口 朋彦 議員

| | | |
|-----|--|--|
| 1 | 件名 | 10周年という節目を迎えるにあたり旧町時代から今なお続く両行政区間の隔たり解消の進捗を伺う |
| | (1) | 合併以降、行政区間の隔たりに関して市長が考える解消された点と、未だ残る課題、今任期中に取り組む事案など総合的な自己評価をお聞きしたい。 |
| | (2) | 市役所2庁舎や一部事務組合など目に見える形での隔たりは、市民の間でも俎上に載る。課題を先送りせず期限を区切って明確な指針を広く提示すべきではないか。 |
| (3) | 自治会体系や公民館活動、両地区間の人口交流の希薄さなども隔たりの要因である。これらに関してどのように考えているのか。 | |

| | |
|---|--|
| | 件名 牧之原市政への市民参加方法のうち、頻度の高い「ワークショップ」についてその有用性やこれまでの実績、今後の課題など |
| 2 | (1) ワークショップについて。今まで実施された回数とのべ参加人数、また重複し参加されている方は如何ほどいらっしゃるのか。そのメンバーの抽出方法は妥当であったか。 |
| | (2) 市民参加について告知や募集により参加された方は如何か。自治会に依頼することが役員の方への負担になっていないか。 |
| | (3) 現在に至るまでの実績、また課題などは。依然として参加手続きのうち「ワークショップ」がファーストチョイスになっている現状を踏まえ、当初から懸念されていた偏重に関しどう考えているのか。 |

7 大石 和央 議員

| | |
|---|---|
| | 件名 子ども子育て新制度の課題について |
| 1 | (1) 新制度の保護者への説明状況。また子ども子育て支援事業計画の策定状況及び今後の認定こども園整備についてどのような方針なのか。 |
| | (2) 新制度実施に向けての財源確保の見通し。公立保育園の民営化検討について、市長の所信を問う。 |
| | (3) 新制度においてどのような障害児支援を実施するのか見解を求める。 |

8 藤野 守 議員

| | |
|---|---|
| | 件名 「家族介護手当」について |
| 1 | (1) 市長は当市の家族介護手当支給額は高い、あるいは安いと考えているか。 |
| | (2) 介護保険制度は発足当初から「保険あって介護なし」と懸念があった。制度の不足部分は市で支援することは当然である。見解を伺う。 |
| | (3) 市は家族介護手当を増額する考えはないか。 |
| | 件名 勝間田川左岸堤防への防護柵設置について |
| 2 | (1) 市内の河川への転落防止柵設置について要望書の受理、また把握している先は何か所あるか。 |
| | (2) 川の水流による堤防の浸食、蛇籠の破損により地盤が軟弱化しているため住宅がひずむなどの被害がある。把握しているか。 |
| | (3) 勝間田川左岸の転落防止柵の設置、地盤の軟弱化対策について具体的に修繕などの予算計上の計画があるか。 |

